



東俣野 1月号

東俣野小学校 学校だより 平成31年1月7日

スマートフォン時代

校長 村田 幹男

2019年、平成31年がスタートしました。今年は、4月30日に天皇陛下の御退位、5月1日には皇太子殿下が御即位となり新元号に変わります。この国事に伴い、ゴールデンウィークは10連休となります。このように特別な年になりますが、今年も、皆様にとって幸多い年になりますようお願いしています。

電車やバスでの移動中でも、コーヒーショップにいる時でも、周りを観察してみると、なんと多くの人たちがスマートフォン（スマホ）を見ていることでしょう。

今や、スマホを誰もが手にする時代となりました。私も、持つようになってから数年経ちますが、はじめは電話やメールくらいしか使えなかったものの、自分の生活にあると便利な機能やアプリを教えてもらい、使っていると、間違いなく便利で、やはりスマホは手放せない状態になっています。

この状態は子どもも同じでしょう。ポケットに入るくらいのサイズで、電話・メールといった連絡手段にも使え、百科事典代わりにもあり、ニュースも分かり、いろんな人とのチャットもできる、ゲームもできる、こんな優れものができたこと自体が驚きです。スマホは、今や、中学生では80%近く、小学生でも半数近くが所持しているという統計も出ています。

本校の児童も、スマホを持ち、日常的に遊んでいる子は多いようです。校外学習に一緒に行ったときなど、子どもたちの会話を聞いていると、動画アプリやラインの話題が出てくるのです。上手に使ってくればよいのですが、よく言われている次のような問題に陥らないようにさせたいです。

○ 長い時間やりすぎないこと。

- どこにいても、無料で、好きなゲームで遊んだり、好きな動画を見たりできるのですから、子どもたちに退屈はありません。これが中毒性を引き起こします。（ゲーム機も同じです）また、画面を凝視する時間が長くなることで、視力低下にもつながるし、姿勢が悪くなったりする恐れがあります。

○ つながる先（アクセス）に十分な注意を払うこと。

- メールやネットへの書き込み、無料通話アプリなどでのやりとりが原因の「いじめ」や、気軽な情報発信や不正アプリによる「プライバシーの流出」、また、「有害サイト」へのアクセスに注意です。

○ 扱う際に十分な注意を払うこと

- 歩きながら、自転車に乗りながらのスマホ操作は危険です。自転車に乗っていて歩行者とぶつかり重大な事故に至ったケース、歩きながら操作していて駅のホームから落下したケースもあります。

子どもは「直接体験」による学びが一番重要と考えます。身体を使って遊んだり、他の人と対話をしたりする時間を大切にしたいものです。基本的に電子メディアの過度の利用は控えるべきだと思います。保護者と子どもで上メディアを上手に利用するルールをつくりましょう。